

本学におけるGPA制度のポイント

(1) 到達目標の明確化：

教員は学生に対して各科目の教育目標（到達目標）を明確に提示し、学生は到達目標を明確に理解・意識した上で、学修に取り組むものとします。

(2) 学修の進捗状況のモニタリングとその結果を中間報告として学生にフィードバック

教員は学修の進捗状況をテスト等により測定し、その結果を学生に随時伝え、学生は自らの学習の進捗状況を理解した上で学修に取り組むことを基本プロセスとします。その中で教員は、教授・指導方法の妥当性を確認・検証しながら、学生の目標達成に必要な支援を行います。当該科目が開講される期中に最低一度、中間報告を個別学生に開示します。（ただし、実習科目および一部科目を除きます。）

中間報告を学生に伝えることにより、教員は学生に対して適宜必要な助言・指導を行い、期末までの間に履修学生の目標達成を支援すること、また、このことを通して、学生の目標達成支援と意欲向上に資することが、中間報告の大きな意義です。最終的には、「厳正な評価制度」と「教育の質の保証」をGPA導入の目的としています。

(3) 明確・公正な評価基準の運用

学修に対する学生の意欲を引き出すためには、明確・公正な評価基準が必要不可欠であり、教員は、評価基準の明確化および学生への説明に努力します。

(4) GPA算出方法について

すべての科目の成績評価をA～Fのいずれかによって決定し、成績通知書および成績証明書に記載します。また、各期末の成績通知書には、下記の算出方法により、当期GPAおよび累積（通算）GPAを記載します。

①本学GPAの成績区分（A～F）とポイント（4.0～0.0）：

A 4.0（100点中90点以上）＝特に優れた成績

B 3.0（89～80点）＝優れた成績

C 2.0（79～70点）＝合格と認められる成績

D 1.0（69～60点）＝合格と認められる最低限度の成績

F 0.0（59点以下）＝合格と認められない成績＝単位不認定＝Failure

②GPA（1単位あたりの平均成績）算出方法：

<グレードポイント A：4ポイント，B：3ポイント，C：2ポイント，D：1ポイント>

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{A 修得単位数}) + (3 \times \text{B 修得単位数}) + (2 \times \text{C 修得単位数}) + (1 \times \text{D 修得単位数})}{\text{総履修単位数 (A～F を含む)}}$$

(注) 小数点第3位四捨五入。不合格 (F 評価) 科目は、分母である総履修単位数に含まれません。

ただし、再履修により (D 以上評価で) 単位認定された科目の従前の F 評価は総履修単位数に算入しません。また、入学前等の既修得単位認定 (N 表示) についても総履修単位数に算入しません。

(5) GPA制度の活用について

1) 原則として、推薦等の基準は次の GPA 値の学生を対象とする。

- ・ 大学への指定校編入学推薦については GPA 値3.0以上。
- ・ 就職時の推薦については2.5以上。

2) GPA 値は卒業時表彰学生選考の参考とする。(選考基準は GPA 値3.5以上)

3) 半期ごとに GPA 値2.3未満の学生は AD 面談を行い、GPA 値2.0未満の学生には注意勧告・退学勧告する。

以上

(学生ハンドブック2019より)